

【古賀市がめざす将来像】

古賀市の将来都市像：第5次古賀市総合振興計画

【めざす都市のイメージ】ひと育つ こが育つ

- － 人がまちを支え まちが産業を支え 産業が人を支え
- みんなが育つ 未来に向かって育ち続けるまち -

【公共交通に関連する方針】良好な都市環境の形成／持続可能な公共交通の実現／商工業・観光の活性化

都市づくりの将来像：古賀市都市計画マスタープラン

- 【都市づくりの理念】 “うみ”と“やま”の自然を大切にす都市づくり “さと”のゆとり環境と潤いを保つ都市づくり
- “まち”の利便性と魅力を高める都市づくり “まち”と“さと”をつなぐネットワークづくり

【公共交通に関連する方針】 JR駅周辺の整備／公共交通ネットワークの充実／JR駅を中心とした拠点づくり

【古賀市における地域公共交通の将来像】

まちを支え、地域をつなぐ持続可能な公共交通

【解決すべき課題】

課題① 市内の公共交通体系の利便性と持続可能性の両立が困難

- ・運転手不足を克服し、利便性を確保していくため、新たな技術を活用し、利便性と持続可能性を両立する公共交通体系への再構築が必要
- ・高齢者が自家用車でなくても移動できる環境の構築が必要

課題② まちづくりに対し、公共交通サービスの視点が必要

- ・JR古賀駅周辺地区におけるウォーカブルなまちづくりを進めていくため、移動利便性の高い交通環境の確保が必要
- ・市東部エリアにおいては、青柳や米多比の集落拠点を核とした交通ネットワーク構築が必要

課題③ 環境にやさしい交通体系や交通行動への転換が必要

- ・環境負荷を抑えた交通体系を構築していくため、環境にやさしい交通サービスの導入や、環境負荷の低い交通体系への転換が必要
- ・市民の自家用車依存率の高い交通行動からの転換促進が必要

課題④ 公共交通に対する市民の認識・理解が一層必要

- ・公共交通における市民の意見等を収集・反映し、関係者が共働して公共交通を創り上げていくスキームの構築が必要
- ・公共交通の維持に向け、市民の公共交通の関心喚起、利用促進の推進が必要

課題⑤ 他分野や隣接市町との共創が必要

- ・公共交通サービスの充実にあたっては、福祉や環境、教育、商工など他分野との連携、隣接市町との連携による共創が必要

【地域公共交通の基本方針】

基本方針①

利便性と効率性が確保された市内交通ネットワークの構築

基本方針②

移動ニーズに細やかに対応する交通サービスの確保

基本方針③

公共交通と連携したまちのにぎわいの創出

基本方針④

市外への外出を確保する鉄道・広域路線バスの維持

基本方針⑤

公共交通の持続可能性の向上に向けた取組の推進

【計画の基本目標・指標】

基本目標① 公共交通の運行効率を高める

市内交通ネットワークにおいては、移動需要に応じたサービスの見直しにより、運行効率を高めることを目指します。

| 指標         |           | 現況値(R4) | 目標値(R10) |
|------------|-----------|---------|----------|
| 市内路線の収支率   | 西鉄バス古賀市内線 | 41.8%   | 50%      |
|            | コガバス      | 19.5%   | 25%      |
| のりーと古賀の乗合率 |           | 1.22    | 1.50     |

基本目標② 公共交通の利便性を高める

利用環境の改善や、利用する上で必要な細やかな情報提供を行うことで、市民に地域公共交通の利便性を感じてもらえるようにします。JR古賀駅においては、利便性向上を図ることで魅力的な空間形成を支援します。

| 指標        | 現況値(R4) | 目標値(R10) |
|-----------|---------|----------|
| 利用環境の整備割合 | 20%     | 100%     |

基本目標③ 公共交通の利用を増やす

市民の理解関心を高めることで、公共交通を利用する機運を高め、市民の利用が増加していくことを目指します。

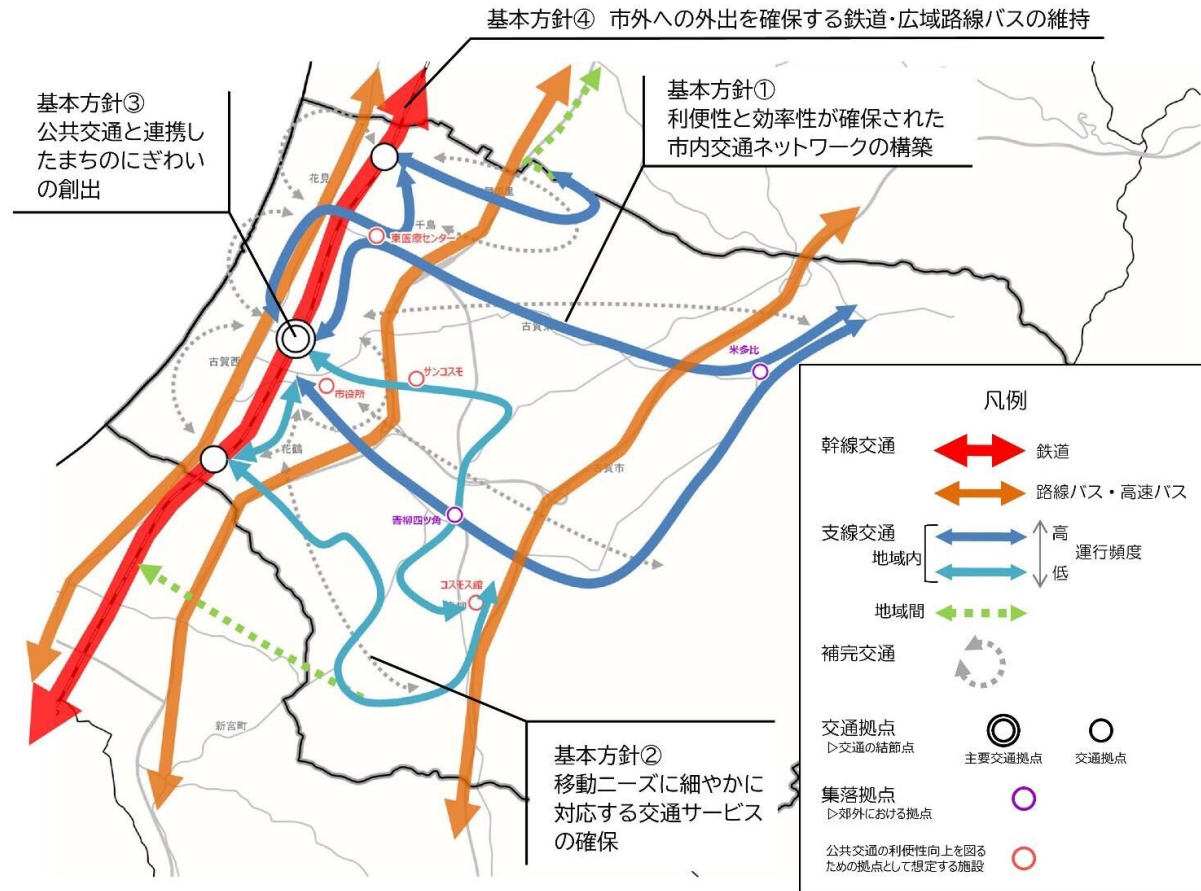
| 指標                    | 現況値            | 目標値(R10) |
|-----------------------|----------------|----------|
| 市内路線の市民一人当たりの年間平均利用回数 | 3.6回/年(R4)     | 4.3回/年   |
| 利用促進を図る取組の実施回数        | 10回/年(R2～R4平均) | 10回/年以上  |

基本目標④ 様々な主体との共創を創出する

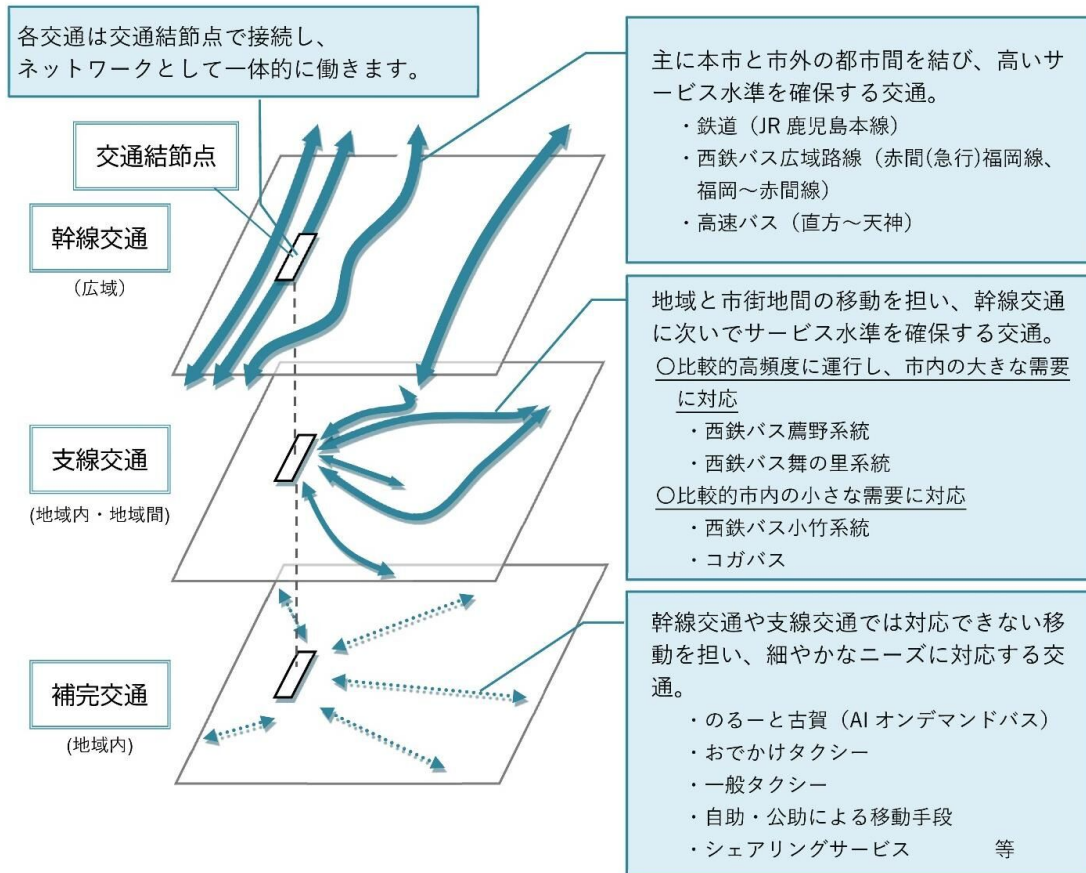
市民や、福祉、環境、教育、商工等の他分野、隣接市町、企業と連携しながら、利便性向上・利用促進に取り組むことで、地域公共交通の持続可能性向上を目指します。

| 指標           | 現況値(R4) | 目標値(R10) |
|--------------|---------|----------|
| 共創による取組の実施回数 | 6回/年    | 7回/年以上   |

## 【公共交通ネットワークの将来イメージ】



## 【公共交通ネットワークの階層イメージ】



## 【公共交通の役割】

| 区分   | 交通モード                  | 路線  | 役割  |
|------|------------------------|---|---|
| 幹線交通 | 鉄道                     | JR 鹿児島本線  | 本市と福岡市や北九州市方面への市外移動を支える骨格軸として、市民の通勤や通学、買物等の日常生活での移動のみならず、市外からの通勤や通学、ビジネス、観光などの移動を担う。  |
|      | 西鉄バス<br>広域路線           | 福岡～赤間線  | 本市と福岡市や宗像市方面への市外移動を支える骨格軸として、市民の通勤や通学、買物等の日常生活での移動のみならず、市外からの通勤や通学、ビジネス、観光などの移動を担う。   |
|      |                        | 赤間急行福岡線   |   |
| 高速バス | 直方～天神                  | 本市と福岡市や直方市方面への市外移動を支える骨格軸として、市民の通勤や通学、買物等の日常生活での移動のみならず、市外からの通勤や通学、ビジネス、観光などの移動を担う。 |   |
| 支線交通 | 西鉄バス<br>古賀市内線          | 薦野系統<br>青柳四ツ角経由   | 薦野区、薬王寺区、今在家区等と JR 古賀駅周辺の市街地部を連絡し、市民の通勤や通学、買物、通院等の日常生活での移動を担う。                        |
|      |                        | 薦野系統<br>筵内経由  | 薦野区、筵内区等と JR 古賀駅周辺の市街地部を連絡し、市民の通勤や通学、買物、通院等の日常生活での移動を担う。                              |
|      |                        | 舞の里系統   | 舞の里と JR 千鳥駅、JR 古賀駅周辺の市街地部を連絡し、市民の通勤や通学、買物、通院等の日常生活での移動を担う。                            |
|      |                        | 小竹系統  | 小竹区、青柳区と JR ししぶ駅、JR 古賀駅周辺の市街地部、JR 千鳥駅を連絡し、市民の通勤や通学、買物、通院等の日常生活での移動のみならず、市外からの通勤移動を担う。 |
| 補完交通 | コガバス                   | コスモス館と市街地の公共施設及び JR 古賀駅を連絡し、市民の買物、通院等の日常生活での移動を担う。                                  |   |
| 補完交通 | のーと古賀<br>(AI オンデマンドバス) | 花鶴・日吉・美明地区内と JR 古賀駅周辺を運行し、市民の通勤や通学、買物、通院などの日常生活での移動を担う。                             |   |
|      | おでかけタクシー               | 乗降場所、時間帯を問わず、自由度の高い交通サービスを提供し、高齢者のあらゆる移動ニーズを支える。                                    |   |
|      | 一般タクシー                 | 乗降場所、時間帯を問わず、自由度の高い交通サービスを提供し、市民・来訪者のあらゆる移動ニーズを支える。                                 |   |

【施策・事業一覧】

| 計画の基本目標・指標   | 施策   | 事業                         |  |   |
|--|--|----------------------------|--|---|
| <b>基本目標①</b><br>公共交通の運行効率を高める<br><br><指標><br>● 市内路線の収支率<br>● のるーと古賀の乗合率                | <b>施策1.</b><br>交通ネットワークの再構築                      | 1-1 現行路線の見直し(階層化)          |  |   |
|  |  | ① 西鉄バス古賀市内線・コガバスの一体的な見直し   | ・路線再編を含めた一体的な見直し【市民参画】<br>・市域を跨いだ移動手段の確保検討(イオンモール福津や新宮中央駅への延伸)【市町連携】<br>・新たな土地利用転換が図られるところへの移動手段確保の必要性について検討【分野連携】 |   |
|  |  | ② のるーと古賀の見直し               | ・利用状況に応じた運行サービスの見直し【市民参画】<br>・運行エリア以外への他エリアへの導入検討【市民参画】  |   |
|  |  | 1-2 対応する移動ニーズの拡大           |  | ・地域の移動ニーズに対応した補完交通の検討(おでかけタクシーの導入・拡充、のるーと古賀の導入等)【市民参画】                    |
|  |  | 1-3 運転手の確保                 |  |   |
|  |  | ① 公共交通分野への就職促進             | ・古賀市無料職業紹介所での求人票掲出、公共交通分野就業希望者への就労支援【分野連携】<br>・運転手の魅力的な働き方を紹介する広報物の作成、情報発信   |   |
| ② 二種免許取得支援制度の検討  | ・二種免許取得の支援制度検討                                   |                            |  |   |
| <b>基本目標②</b><br>公共交通の利便性を高める<br><br><指標><br>● 利用環境の整備割合                                | <b>施策2.</b><br>公共交通を利用しやすい環境の整備                  | 2-1 駅や主要停留所における待合環境の整備     |  |   |
|  |  | 2-2 公共交通に関する情報周知の強化        |  | ・「広報こが」での公共交通特集、HPでの時刻表、路線図の情報提供<br>・民生委員等を通じた公共交通の情報提供方法について検討【分野連携】     |
|  |  | 2-3 多様な交通サービスの一元化に向けた調査・研究 |  |   |
|  |  | ① 情報の一元化に向けた調査・研究          | ・MaaSの導入に向けた調査・研究  |   |
|  |  | ② 新たな料金体系の導入に向けた調査・研究      | ・移動にかかる費用(鉄道・バス・駐車場等)をパッケージ化した料金導入に向けた調査・研究<br>・市内路線の運賃定額制(サブスクリプション)導入に向けた調査・研究                                   |   |
| <b>基本目標③</b><br>公共交通の利用を増やす<br><br><指標><br>● 市内路線の市民一人当たりの年間平均利用回数<br>● 利用促進を図る取組の実施回数 | <b>施策3.</b><br>利用の促進                             | 3-1 戦略的モビリティ・マネジメントの実施     |  |   |
|  |  | ① 公共交通の利用を促す情報提供           | ・公共交通を知ってもらう段階、実際に利用してもらう段階に応じた効果的な情報提供<br>・自家用車の利用を控えるための情報提供   |   |
|  |  | ② 集会・イベント時における利用喚起         | ・団体代表者に対し、公共交通の運行時間に合わせた開催、公共交通利用を呼びかけ<br>・イベント開催時は、チラシやSNS等で公共交通での来場を呼びかけ【分野連携】                                   |   |
|  |  | 3-2 公共交通の使い方講座等の開催         |  |   |
|  |  | ① 子どもを対象としたイベント等の開催        | ・地域や学校のイベント・行事等における、親子で公共交通を利用する機会や、児童を通じて保護者への情報が伝わるようなきっかけづくり【分野連携】<br>・「こども50円バス」等の子ども向け割引切符の周知                 |   |
| ② 高齢者を対象とした使い方講座の開催  | ・地域の集まり等において、公共交通の使い方に関する講座、インターネット活用方法に関する講座を開催 |                            |  |   |
| <b>基本目標④</b><br>様々な主体との共創を創出する<br><br><指標><br>● 共創による取組の実施回数                           | <b>施策4.</b><br>様々な主体の参画・連携強化                     | 4-1 市民の参画強化                |  |   |
|  |  | ① 地域が主体となった取組の促進           | ・住民主体で地域に必要な移動手段のあり方を検討する「地域協議会」の立ち上げを促進<br>・「地域協議会」に関する情報提供、「地域協議会」開催のために必要な支援の検討                                 |   |
|  |  | ② 市民との利用状況の共有              | ・公共交通の利用状況や運営状況について、地域協議会で説明し意見交換を実施<br>・公共交通の利用状況や運営状況の定期的な情報公開<br>・利用状況に応じてサービス水準の見直しを検討する“目安”決定の協議              |   |
|  |  | 4-2 多様な分野との連携強化            |  | ・医療、福祉、教育、商業、環境等、分野間の垣根を越えた連携の在り方について模索<br>・環境に配慮したスマートムーブ(EV車両)の導入       |
|  |  | 4-3 隣接市町との連携強化             |  | ・地域の垣根を越えた移動手段の維持・確保、周知・PR活動、利用促進企画等の取組を実施                                |
|  |  | 4-4 企業との連携強化               |  | ・企業への通勤手段確保、企業が保有するバスの活用等を模索<br>・JR駅周辺施設の駐車場を活用したパーク＆ライド等、企業と連携した利用促進策を検討 |